

三菱UFJ DC国内債券インデックスファンド

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象 国内債券
- ・ベンチマーク NOMURA-BPI総合インデックス
- ・目標とする運用成果 ベンチマークと連動する運用成果をめざします

◆基準価額、純資産総額

基準価額	11,780円
純資産総額	1,024.86億円

◆資産構成

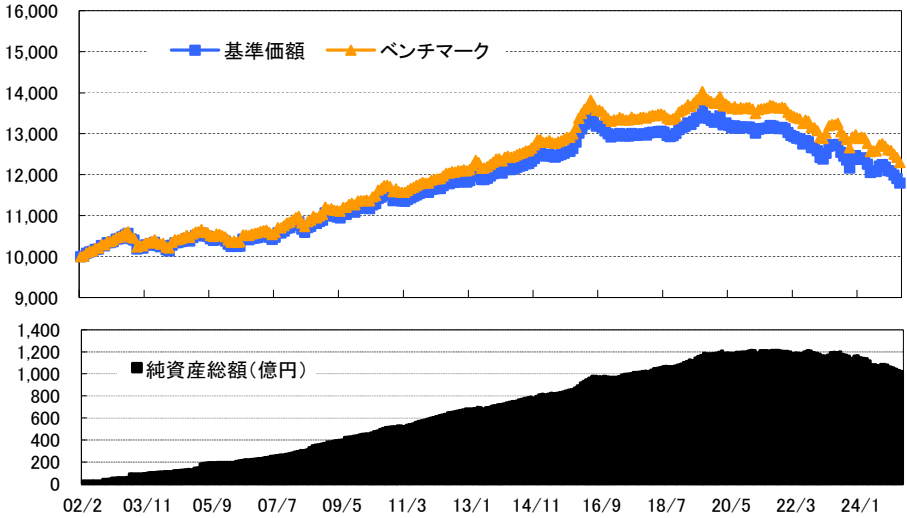
債券	99.88%
債券先物	0.00%
債券実質	99.88%
現金等	0.12%

*純資産総額比

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	10.63年	10.28年
修正デュレーション	8.50	8.50
複利回り	1.43%	1.43%

◆基準価額(分配金再投資)の推移グラフ



*基準価額、ベンチマークは設定日(2002年2月5日)前日を10,000として指数化しています。

◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3か月間	6か月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	-2.41%	-3.73%	-4.89%	-3.01%	-2.26%	-0.55%	0.71%
ベンチマーク収益率	-2.36%	-3.64%	-4.73%	-2.87%	-2.11%	-0.40%	0.89%
差異	-0.05%	-0.09%	-0.16%	-0.14%	-0.15%	-0.16%	-0.18%
ファンドリスク	—	—	2.60%	2.94%	2.43%	2.30%	2.10%
ベンチマークリスク	—	—	2.59%	2.93%	2.42%	2.30%	2.10%

*ファンド(分配金再投資)の収益率とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

*収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。(設定来は設定月末を起点として算出)

*収益率は期間が1年以上の場合は年率、期間が1年未満のものについては年率換算していません。

◆公社債種別構成比

種別	ファンドのウェイト
国債	84.05%
政保債	1.12%
地方債	5.74%
金融債	0.29%
事業債	6.72%
円建外債	0.39%
MBS	1.48%
ABS	0.10%
その他	0.00%

*純資産総額比

◆公社債残存別構成比

残存年数	ファンドのウェイト
1年未満	0.25%
1～3年	20.64%
3～7年	28.95%
7～10年	16.99%
10年以上	33.06%

*純資産総額比

◆公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数：456銘柄)

	銘柄名	ファンドのウェイト	残存年数
1	第354回利付国債(10年)	1.02%	3.97年
2	第350回利付国債(10年)	1.01%	2.97年
3	第134回利付国債(20年)	1.01%	6.97年
4	第150回利付国債(5年)	1.00%	1.72年
5	第374回利付国債(10年)	0.97%	8.97年
6	第344回利付国債(10年)	0.95%	1.47年
7	第373回利付国債(10年)	0.91%	8.72年
8	第363回利付国債(10年)	0.90%	6.22年
9	第361回利付国債(10年)	0.89%	5.72年
10	第349回利付国債(10年)	0.87%	2.72年

*純資産総額比

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■「NOMURA-BPI」とは、野村フィデュシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。